



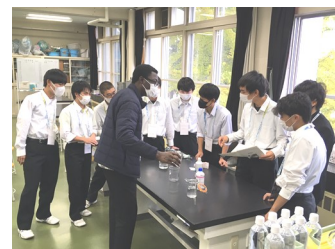
樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL: 0155 (37) 5501
発行日 令和3年10月29日

英語での国際交流SGG 実施

本来ならば見学旅行でTOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)を訪れ、海外をイメージして作られた街並みでいつもと違う環境のなか、グローバルな世界を存分に体験することができたはずなのですが、新型コロナによる日程と見学地変更によってそれがなくなりました。ならば三条高校で体験しようと2年次団が企画したのがこのSGG (SANJO GLOBAL GATEWAY) でした。

6人のイングリッシュスピーカーの方たちを迎え、アイデアと心のこもったおもてなしで楽しい交流のひとつとなりました。各グループは様々なテーマのもと交流活動を展開するのですが、相手から予期せぬ質問が繰り出され、みんなで必死になって答えていました。茶道ではお菓子の原材料や作り方などを聞かれしどころ。正座をしてつらそうなブルーノさんに「足を崩してください」が言えなくて困る生徒たち。最後はジェスチャーで解決しました(笑)。ブルーノさんも「抹茶を初めて飲みました。苦くないんですね」と喜んでいました。今回来てくださったみなさんから、「とても楽しかった」「一生懸命に頑張る生徒が素晴らしい」という声をいただきました。生徒の一



人は「英語が好きだけど、外国の人と話す場面はなかなかないからとてもいい機会になりました。ちゃんと英語通じました」と喜んでいました。また、本校の先生の中には「一生懸命相手に伝えようと表現していた生徒たちに感動しました」という声もありました。

相手を理解しよう、そして理解してもらおうとする心の働きがとても大切です。それは決して外国の人だけに向けられるものではないはずで、あなたの周囲の人たちにも同様の働きかけが必要なのです。それが異文化理解の初めの一歩です。

あなたはできていますか？



延期していた球技大会無事終了！

緊急事態宣言延長によって10月に延期となっていた球技大会が、5日、7日の2日間で開催されました。生徒たちは感染対策を取りながら、久しぶりの行事に大いに盛り上がりました。初日はあいにく時々雨が降る中でしたが、無事終了。翌日はグラウンド不良のために延期しましたが、7日の朝に部活動の生徒が中心となってグラウンド整備に当たり、日程通り実施することができました。生徒会や部活動の皆さんのお陰です。本当にありがとうございました。3年生はこれが最後の生徒会行事でした。今後は今大会でのクラスの一体感を大切に、お互い励まし合いやりながら、進路活動に集中してもらいたいと思います。



生徒による中3対象学校説明会

昨年に引き続き、今年も『自己表現』の授業を選択している生徒が2グループに分かれて、中学3年生を対象とした学校説明会を企画・運営しました。校長挨拶に続いて、生徒による学校説明と校舎案内を行いました。本校の特色である単位制を、実際に学んでいる側の視点から説明したり、映像を使って本校の様子を伝えました。中学生のアンケートでは「学校説明がわかりやすかった。入学したら楽しいのだろうと感じた」「学校説明などは先生方がしてくださると思っていたのですが生徒さんたちですべて進めることに驚きました」などの感想が寄せられました。運営した生徒たちも、人に伝える難しさと喜びを感じることができた説明会だったと思います。来年度にしっかりと反省と評価を伝えて、よりよい説明会にしていきたいと思っています。



放送局制作ラジオ番組をNHK札幌放送局HPで聴くことができます

年収が200万円とワーキングブアになっているNON-JETのALTたちの苦しい状況を多くの人に知ってもらいたいと制作した番組(今年度NHK杯北海道大会最優秀賞)です。この番組がきっかけでニュースでもとりあげられるようになった話題です。ぜひ聴いてみてください。https://www.nhk.or.jp/hokkaido/articles/



図書局・放送局・美術部がコラボ『webでおはなし会』帯広市図書館公式YouTubeにアップ
市図書館から依頼を受けて、朗読に挑戦した「図書局」。その図書局に発声の基礎を教えてくれた「放送局」。そして物語の世界観を絵で表現してくれた「美術部」。オリジナル朗読動画が27日より公開されています！ご覧ください

第16回 3-5担任・ソフトボール部顧問 千葉 澄人 教諭 人生、七転びやる気

◆アメリカの国力に圧倒された留学

英語が好きで大学の留学制度を利用したいと考えて、英語研究部に入のですが、自分の英語が全く通用せずショックを受けました。「負けてたまるか」と空き時間を利用してリスニングルームに通ったりして勉強しました。そのかいもあって校内選考にあって1年間アメリカのオレゴン州の大学に留学しました。当時は21歳の証明がないとお酒が買えないシステムでした。パブの前に警官がいてIDを見せないと中に入れてくれないのです。この徹底した社会システムにびっくりしました。そして大学内にはアメフトのスタジアムやプールがあり、スキューバの授業まである。そして、70歳くらいの人も大学で当たり前で学んでいるのです。オレゴンのとんでもない山奥に大学所有の山荘があるのですが、そんな施設でもシャワーや水洗トイレが完備されている。今から40年近く前の話です。心底、アメリカってすごい、日本はかなわなくなって思いました。一緒にオレゴンに留学した友達と大学を卒業してアメリカをぐるっと旅しましたが、時間の流れ方が全く違うと感じました。

◆商事会社勤務から教員へ

卒業後は得意の英語を生かして札幌の商事会社に就職しました。総務部勤務を経て希望だった貿易部で中南米にはバイクを売り、オーストラリアには芝生刈り用ブレードを売りました。ところがまもなく経理部に異動となり、このまま同じ会社にいることの意味が揺らいできました。転職も考えて就職試験の最終面接に臨んだところ、

面接官がカウンセラーのように私のいろんな考えや思いを引き出してくれるんです。そして最後に「千葉さん、あなたのやりたいことを総合すると英語の教員がふさわしいのではないですか」と言うのです。実はそれも一つの道だなあと漠然と思っていたので、ふんぎりをつけて教員の道に舵を切ることになりました。ただ、大学は商学部で教員免許もとっていなかったもので、大学に編入しなくてはなりません。親に学費を出させるわけにもいかず、奨学金とアルバイトでなんとか2年間大学に通い、英語の教員免許を取得できたのです。

◆英語は常に今が問われる雪だるま式の学習

英語学習は常に「今」が問われます。これを学んだら次にこれを学ぶという塗りつぶす方式ではなく、雪だるま式に絶えず転がして太らせていかなくてはなりません。少し手を抜くとすぐ溶けてしまいます。だから、目の前のゴールにあわせて何かをするのではなく、今の積み重ねを大切にしたい。「転ばぬ先の杖」を用意しておくことが、必ずしもいいことだとは思っていません。場合によっては転んでもいいと思います。人生では起き上がる力のほうが大事だからです。



インタビュー

きりり

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。

新生徒会長に信任された

2年6組 松井 彩月 さん



10月8日に放送による演説会を経て信任された松井彩月さん。昨年、校長と生徒会の懇談の場で「生徒会長を目指します」と言っていたとおり、生徒会長になりました。有言実行の人です。すごい。中学の時も生徒会長だったということで、まず生徒会に入ったきっかけを聞きました。「中学入学時の生徒会長さんが本当に楽しそうに行事を盛り上げていて、自分もあんなふうに楽しめたらなあと思ったのがきっかけでした。その方は本当にいい人で、人をまとめるってこういうことなんだと思いました。」次に中学と高校の生徒会の違いを尋ねると、「中学は大人の力を借りてやっている感があります。生徒が行事の大部分を企画・運営していくのが高校。生徒みんなの声を直に聞いて、それを企画に反映させていくことに楽しさを感じます。その分、責任は大きくなりますけど。」ときっぱり。

今までの生徒会行事で印象深かったことを尋ねると、躊躇なく

「昨年の学校祭代替行事です。」と返ってきました。「昨年はコロナの影響でずっと行事ができなくて、入学後初めての行事でした。全く初めてのものを作らなければならなくなっただでさえ大変なのに、生徒会メンバーは私たち1年生が11人と多くて、1学年上の5人の先輩たちが一生懸命仕切ってくれて。本当に迷惑かけていたなあと思います。」と振り返り、続けて「そして1日目の最後の花火に感動しました。3年生の先輩たちがみんな花火を見ながら泣いていて。ずっと何もできない状況が続いていたので、私にとってもあの花火が特別のものでした。」「また、花火やりたいなあ。1年生にみせてあげたいなあ」と思い出深そうに話してくれました。

最後に、会長として何をしたいのか聞くと、「先輩たちが残してくれたものを引き継ぐのはもちろんなのですが、今の私たちの代だからできることをつくってみたいと思っています。現在の状況でもどんどんできることを増やしたいです。」と抱負を語ってくれました。

英語が好きな松井さん。SGGのような英語を話す機会をたくさん作ってほしいと言っていました。生徒会で鍛えたコミュニケーション能力をいつか世界を相手に発揮してくれるものと思います！

